

分 類：基礎医学アドバンスコース

授業科目名：細胞生物学（Cell biology）

対象学年：2年次選択

時間割コード：71564001

開設学期等：第31週

単位数：1

1. 主任教員

八月朔日泰和（教授、大学院医学系研究科組織細胞学講座、6056）

2. 担当教員

八月朔日泰和（教授、大学院医学系研究科組織細胞学講座、6056）

鮎川 友紀（講師、大学院医学系研究科組織細胞学講座、6237）

吉川 究（助教、大学院医学系研究科組織細胞学講座、6058）

米村 洋而（助教、大学院医学系研究科組織細胞学講座、6058）

山崎 正和（非常勤講師、大学院理工学研究科生命科学コース）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

授業のねらい及び概要

最新の研究について、細胞の形態と機能および組織構築を司る機構を分子レベルで学ぶ。

学修目標

- ・各種顕微鏡を駆使した研究方法を理解し、脂質性二次伝達物質代謝酵素の神経細胞内局在に関する最新の研究について学ぶ。（3-1～3-2）
- ・細胞極性を司る機構を分子レベルで理解する。（3-1～3-2）
- ・細胞外マトリックスの構造と機能を分子レベルで理解する。（3-1～3-2）
- ・組織構築を司る機構を分子レベルで理解する。（3-1 3-2）
- ・研究医について理解する。（1-1～1-2,6-1～6-2）
- ・研究の進め方について理解を深める。（5-1～5-4,6-1～6-2）
- ・他者との議論などを通じて協調性を養う。（2-1～2-6）
- ・授業中に得た研究のトピックや臨床的知識に興味を抱いて自己学習し、学んだ成果を取り入れることができる。（5-1～5-4,6-1～6-2）

4. 教科書・参考書

細胞の分子生物学第7版（Alberts ら）Newton Press

5. 成績評価の方法

出席状況、提出レポート等により行う。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

最新の基礎医学研究の重要性と研究医についての理解を深めて欲しい。

本授業は研究についての講義を行うので、授業の予習として1年次および2年次の授業内容を確認しておくこと。

授業で講義した内容についてレポートを課すので、配布資料を中心に復習しておくこと。

受け入れ予定学生数：20名程度

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	11月30日(月)	1-10時限	講義	テーマ：形態学的研究手法/研究の進め方 各種顕微鏡を駆使した研究方法を理解し、脂質性二次伝達物質代謝酵素の神経細胞内局在に関する最新の研究について学ぶ。 研究の進め方について学ぶ。	八月朔日 泰和	基礎棟第2講義室
2	12月1日(火)	1-10時限	講義	テーマ：細胞極性 細胞極性を司る機構を分子レベルで理解する。	山崎 正和	基礎棟第2講義室
3	12月2日(水)	1-10時限	講義	テーマ：タンパク質の局在化制御メカニズム タンパク質の輸送・局在化の制御メカニズムについて学ぶ。	米村 洋而	基礎棟第2講義室
4	12月3日(木)	1-10時限	講義	テーマ：組織構築 組織構築を司る機構を分子レベルで理解する。	鮎川 友紀	基礎棟第2講義室
5	12月4日(金)	1-10時限	講義	テーマ：細胞外マトリックス 細胞外マトリックスの構造と機能を分子レベルで理解する。	吉川 究	基礎棟第2講義室